

防火標語 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし		発行所 公益財団法人長野県消防協会 (長野県庁西庁舎) 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 TEL (026) 232-5319 編集発行人 福澤 賢治
---	--	--



ポンプ車操法優勝 諏訪市消防団



小型ポンプ操法優勝 池田町消防団



ラッパ吹奏優勝 長野市消防団



開始式



開始式 中澤参与会会長



開始式 渡邊県危機管理部長



開始式 福澤会長

長野県と当協会主催、（公財）日本消防協会後援による県大会を7月13日（日）、長野市の県消防学校で開催しました。

大会には全13地区の消防協会からポンプ操法24チーム、ラッパ吹奏12チーム、選手関係者、来賓・役員、審査員、運営員合わせて約1,600人が参加しました。

優勝はポンプ車操法が昨年度に引き続き諏訪市消防団。小型ポンプ操法

は池田町消防団が初優勝。ラッパ吹奏大会は長野市消防団が4連覇を果たしました。

設営、運営を担った須高消防協会では約百人が前日の準備から参加。県消防学校での開催ノウハウを引き継ぐとともに、独自の工夫や見直しを加えて円滑な運営を行っていたいただきました。

また、今回は開始式に来賓の参与や地区協会から約130人の役員、団員が参加されました。

優勝チーム
ポンプ車操法 諏訪市消防団
小型ポンプ操法 池田町消防団
ラッパ吹奏 長野市消防団

消防団はじめ、県消防学校、消防職員等関係者が支え、歴史を刻んでいる県大会。新たな課題である熱中症対策や参加者、運営員、審査員の負担軽減などにも対応するため、今後も理事会等において協議を続けていきます。

令和7年度 大会結果表

順位	ポンプ車操法	小型ポンプ操法	ラッパ吹奏
優勝	諏訪市	池田町	長野市
準優勝	信濃町	茅野市	茅野市
3	上田市	川上村	安曇野市
4	大町市	喬木村	木島平村
5	駒ヶ根市	駒ヶ根市	千曲市
6	飯田市	栄村	上田市
7	南木曽町	南木曽町	佐久市
8	軽井沢町	松本市	駒ヶ根市
9	飯山市	信濃町	木曽町
10	川上村	高山村	高森町
11	松本市	上田市	小海町
12	—	千曲市	大町市

立科町(順位なし)

個人賞

ポンプ車操法		小型ポンプ操法	
番号	消防団 氏名	消防団 氏名	氏名
指揮者	南木曽町 松下 幸弘	川上村 小金澤 巧	
1番員	諏訪市 小泉 光司	池田町 浅井 佑介	
2番員	飯田市 佐々木 喬太郎	茅野市 佐久 雄真	
3番員	諏訪市 笠原 堅介	川上村 日向 孝幸	
4番員	諏訪市 坂保 竜仙	—	—

優勝チームからの寄稿

県大会を振り返って

諏訪市消防団第5分団

主将 玉本 祥大

今回の長野県大会まで、家族、地域の方々、消防団関係者の方々の協力、サポートのおかげで第一部優勝という結果を掴むことが出来ました。誠にありがとうございました。私たち諏訪市消防団第5分団では4月より操法訓練を開始しました。今年はポンプ車も新しくなり、新入班員も増



諏訪市消防団「感謝」

えスタートから勢いのある機械班となりました。昨年度、私たちのチームは諏訪市消防ポンプ操法大会で機関のトラブルで送水をする事が出来ず、操法中止という悔しい結果でした。昨年度の悔しさもあり、訓練にもより一層気持が入っておりまして。今年度は班員も増え2チーム作ることが出来、大会出場チームの選考を行うことが出来ました。選手たちも切磋琢磨し、選手全員の技術力、団結力の向上に繋がったと感じております。その結果、諏訪市の大会、諏訪地区大会を優勝することが出来ました。しかしながら内容は選手が納得いくものではなく、課題も残る結果となりました。経験の浅い団員もいる中で署指導員、団指導員、多くの団員に支えて頂き、課題を修正し、県大会当日も皆様の大きなご声援が選手の力になり、選手も実力を発揮し、長野県大会を優勝することが出来ました。この優勝は選手のみでは成し遂げることが出来ませんでした。家族、地域の方々、消防団関係者の皆様、支えて頂いた全ての皆様と一

丸となり勝ち取った優勝だと思っております。3ヶ月間一生懸命訓練に励んでくれた選手にも感謝しています。本当にありがとうございました。コロナ禍以降、操法訓練の廃止、大会を行わないなど操法のあり方も変わってきました。私が入団した当時は、毎日のように操法訓練を行っていたが、今は団員の負担軽減や怪我防止の為、しっかりと休日を設けるようにしています。昔に比べて操法訓練に参加しやすい環境づくりもしています。操法を簡単に廃止してしまうのではなく、皆で考え良い方向に変えていく事で消防力を低下させずに訓練することができると思います。それが地域、家族、仲間を守ることに繋がる事と私は思います。

念願の県大会初優勝

池田町消防団第2分団

分団長 矢口 雅俊

池田町消防団第2分団は池田町の北側、堀之内・正科地域にあります。

池田町では今年度は操法の訓練を行うか各部隊で訓練内容を決め年間を通して実施するかの各部隊の選択制をとる形でした。私たちの部隊は操法の訓練はどんな災害現場にも通ずる基

本が詰まっている重要な訓練と考え操法大会に出場することを決めました。練習は5月の連休明けから始まりました。家族に負担を少しでもかけないようにと朝5時から6時まで練習を開始しました。選手は腰や膝のけがなどを抱える中また仕事で練習に出られない選手の代役を他の団員が務めるなど周りのサポートも大事な役割を持ち練習を進めるにつれより一層チームの絆が強くなったように感じます。

「今年こそは絶対優勝するんだ」と練習当初から団員全員が一丸となり朝も早くから練習し



池田町消防団「最高の仲間！！」

集中して訓練に臨んでくれとも質の高い練習が出来ました。県大会ではとにかく練習通りの操法をやろうと大会に臨み、操法が終わった時には選手もサポーターも「最高の操法だった」と胸を張り優勝の結果を聞いた時には「今までやってきたことは間違いないやなかつたんだ」と自信になりました。来年は全国大会があるので来年も優勝を目指して頑張っていきたいと思えます。今回優勝できたのは痛い体を酷使し頑張ってくれた選手、日々の練習の準備や片づけ、指導してくれたサポーター団員、支えてくれた家族、地域の皆様、町の消防団関係者の皆様のおかげだと思っております。長い期間支えて頂きありがとうございました。操法の訓練には基本が詰まっております。披露することが目的ではなく災害現場において地域住民の安全・財産を守ることが、団員の安全を守る事が目的であることを忘れずこれからも日々の訓練に臨んでいきます。近年は自然災害が増えており災害時には日々の訓練で培ってきた操法技術、仲間の絆を発揮し自分たちの地域を自分たちの手で守っていききたいと思えます。



大会を振り返って

長野市消防団音楽隊長

佐當 一行

大会で優勝すること。そして優勝し続けることの難しさを今年も感じながら臨みました。昨年までの3連覇から今年も優勝を目指しての取り組みは決して楽ではありませんでした。

今年も昨年までと同じ指導者により、主将、ラッパ吹奏者、打楽器奏者、指揮者の選定にあたりました。そして、吹奏の指導も課題曲においては昨年以上の演奏を目標に、自由

長野消防団「皆様のご支援とご協力に感謝」

曲は昨年と同じ曲と新しい曲の2曲で挑み、昨年からの練習を始め2月の長野市消防団音楽隊の定期演奏会で披露しました。

しかし、一度仕上げることでより大会での演奏がうまくできるかと思えば簡単ではありませんでした。大会での演奏は全然違うもので、細かい曲想や音の出し方の指導を受けて、直前まで繰り返し練習しました。

体育館での大会に備え中条体育館をお借りしての練習、他の予約があり使用できない日は中条総合市民センター講堂をお借りしての練習でした。

夕方からではありませんが、体育館の中は暑く、飲み物を用意したり休憩を入れたりの熱中症対策をしながらでした。また、中条は自宅から遠い団員もいました。いろいろな段取りをつけ参加して熱心に練習に取り組んでもらいました。家族の協力もなくてはなりません。

そのような状況でありながら僅差ではありませんでしたが今年も優勝することができました。このことは、今後の音楽隊として消防団員としての活動、仕事や普段の生活にも活かし

ていけると思っています。寝る間を惜しんで頑張ってくれた隊員、隊員を支えてくれたご家族、何度も激励に来ていただいた消防団本部を始めとした団員、OBの皆様、協力していただいた地域の皆様、そして消防局の皆様、大勢の方に支えられ私達音楽隊は大会に臨むことができました。結果を残すことができました。改めて皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

5月14日(水)第1回理事会を長野市内で開催しました。県危機管理本部渡邊部長にあいさつをいただいた後、令和6年度事業報告及び歳入歳出決算(別表のとおり)について事務局から説明。清水監事から監査報告があり、いずれも原案どおり承認され評議員会に提案することが決定されました。

令和7年度 第1回理事会



第1回理事会

県大会スナップ



開始式 来賓の参与、評議員の方々



前日準備 須高消防協会



競技を見守る出場団、協会役員



ホース撤収に協力いただいた消防学校初任科の皆さん



終了式 吉原消防学校長



ラッパ吹奏審査員の方々



進行係 須高消防協会



終了式 地区協会、審査員

定時評議員会

今年度の定時評議員会を5月29日(木)長野市内で開催しました。

会議には、評議員5名全員と正副会長が出席。五十嵐幸男評



定時評議員会

議員(参
与会相談
役)に議
長を務め
ていただ
き、歳入
歳出決算
及び新た
な監事等
の選任に
ついて承
認されま
した。

第1回女性消防団員 活性化会議

7月26日(土)、各地区消防協会から推薦された女性消防団員活性化委員の出席をいただき、第1回県女性消防団員活性化会議を松本市で開催しました。今年度最初の会議には、委員13名中8名、福澤会長、坂巻副会長及び消防課担当職員が出席。会



第1回女性消防団員活性化会議

県から新田副知事、渡邊危機管理部長、小野危機管理部次長、兼消防課長、吉原消防学校長、渋沢消防防災航空センター所長、主催側から村松消防団長、県消防長会副会長、当協会正副会長、福利厚生委員、理事合わせて28名が参列。村松消防団長会長からの「式辞」、新田副知事及び福澤会長による「追悼のことば」に続き、お一人ずつ献花をしていただきました。

令和6年度歳入歳出決算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

(単位 円)

I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
基本財産運用収入	6,906,000
事業収入	5,395,342
補助金等収入	9,768,240
雑収入	2,738,575
事業活動収入計	24,808,157
2 事業活動支出	
事業費支出	14,341,467
広報事業費	484,000
予防宣伝対策事業費	458,829
教養訓練事業費	9,379,297
表彰事業費	2,278,584
弔意救済事業費	1,740,757
管理費支出	13,559,534
事業活動支出計	27,901,001
事業活動収支差額	△ 3,092,844
II 投資活動収支の部	
1 投資活動収入	
財政調整積立資金取崩収入	11,016,390
2 投資活動支出	
投資活動収支差額	233,783
当期収支差額	△ 2,859,061
前期繰越収支差額	4,705,657
次期繰越収支差額	1,846,596

長野県消防関係 殉職者慰霊祭

議では、来年度開催する県大会の日程や内容を協議し、正副会長の選任では、徳武委員(須坂市)を会長に、竜野委員(長和町)を副会長に選任。後半は各委員の消防団や地区消防協会での活動内容の発表があり、活発な意見交換が行われました。

県消防長会との共催による県消防関係殉職者慰霊祭が9月3日(水)、長野市花岡平の「殉難消防組員の碑」前において行われました。

第44回全国消防 殉職者慰霊祭

殉職者慰霊祭

9月11日(木)、東京都内ニッショーホールで(公財)日本消防協会主催、総務省消防庁後援による慰霊祭が行われました。来賓として、石破内閣総理大臣、村上総務大臣らが出席。当県を含む全国から御遺族の代表、消防関係者が参列されました。



御遺族による献花

追悼のことば 福澤会長

現在の殉職者の御霊は5,795柱となっています。日本消防協会の秋本会長は、式辞の中で「消防の任務は益々重くなっています。これまでも増して事故防止に全力を尽くすことが、職に殉じられた御霊に対する私どもの責務である」と述べました。

知事表彰

消防功労者知事表彰は次の7名が表彰されました。(敬称略)
青木春美(元)小諸市消防団長
今井一彦 下諏訪町消防団長
小川勝弘 松本市消防団分団長
小口満子 下諏訪町消防団員
小島秀幸(前)岡谷市消防団分団長
久保田毅 松本市消防団分団長
吉澤 洋(前)下諏訪町消防団分団長

消防関係者 春の叙勲

県内からは、次の4名の方々が受章の栄に浴しました。

(敬称略)

瑞宝単光章
井出大広(元)北相木村消防団長
塩川浩次(元)小諸市消防団長
林 和敏(元)岡谷市消防団分団長
米窪潤司(元)塩尻市消防団長